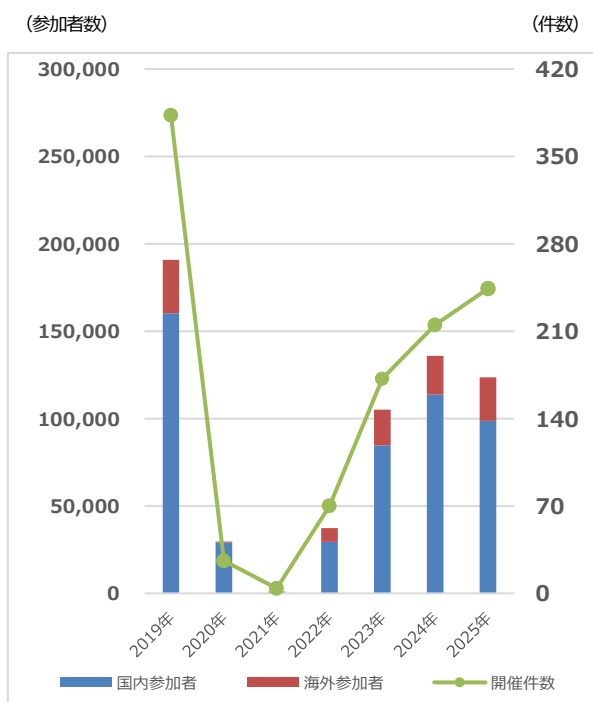


## 2025年京都開催の国際会議統計の発表について

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューローでは、日本政府観光局（JNTO）基準\*による2025年1月～12月の京都における国際会議の開催実績を集計しましたので、お知らせします。

- 2025年は、前年に引き続き国際会議の開催件数が増加し、京都全域で259件となり、2020年以降で最も高い水準となりました。関係機関との連携による誘致活動や助成制度の活用などにより、京都市域で244件（前年より29件増）、市域を除く京都府域で16件（前年と同水準）を記録しました。
- 京都市域では、国内参加者数は前年より減少した一方で、5月に「世界超音波医学生物学連合第20回学術集会」、9月に「第15回国際先天代謝異常学会」など、海外参加者が多数参加される大型国際会議が開催されました。その結果、海外参加者数は増加し、海外参加者比率は20.2%となりました。JNTO統計より厳しい基準である国際会議協会（ICCA）基準では、京都市の開催件数は53件（前年より4件増）となりましたが、前年より4位下がり世界46位となり、件数が増加する中でも順位が変動しており、国際的な都市間競争の激化がうかがえる結果となりました。
- 京都府域（市域を除く）においては、精華町などで国際会議が開催され、前年の件数と同水準を維持しました。
- このように国際会議の開催が回復する中、当財団では、開催を契機とした地域貢献や環境に配慮した取組など、サステナブルなMICEの推進に引き続き取り組んでおります。
- また、京都ならではの文化資源を活かした魅力的なMICEの創出を力強く後押しし、今後さらなるMICE誘致・開催につながるよう、一層努めてまいります。

### 年別開催件数・参加者数(京都市域)



京都市域	開催件数	244件	前年比 113.5%
	総参加者数	123,628人	前年比 91.1%
京都市域を除く府域	開催件数	16件	前年比 106.7%
	総参加者数	4,401人	前年比 91.8%
京都府全域合計	開催件数	259件*	前年比 112.6%
	総参加者数	127,976人*	前年比 91.0%

(\*:1件府・市重複あり/府・市重複分は1件として集計)

### ※国際会議の計上基準

開催形態	計上基準
現地開催	以下の①～④の全てを満たす会議を国際会議として計上(JNTO基準) ① 主催者:「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」 ② 参加者総数:50名以上 ③ 参加国数:日本を含む3か国以上 ④ 開催期間:1日以上
ハイブリッド開催	・現地開催とオンライン開催を併せた開催形態 ・現地参加者が、「現地開催」の基準を満たす会議のみ件数計上し、参加人数は現地参加者数のみを計上
オンライン開催	・オンラインのみで開催される開催形態 ・現地参加者が存在しないため計上しない